



# 2025年3月期決算説明資料



2025年4月24日  
メタウォーター株式会社

- I 2025年3月期決算ハイライト
- II 2026年3月期通期業績予想・配当予想
- III 「中期経営計画2027」の補足
- IV 2025年3月期決算概要  
(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フローの状況)

- I 2025年3月期決算ハイライト
- II 2026年3月期通期業績予想・配当予想
- III 「中期経営計画2027」の補足
- IV 2025年3月期決算概要  
(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フローの状況)

## ■'25/3期 実績

- ・ 期初に人的投資、基幹システム更新による減価償却費負担などから減益予想を公表。
- ・ 北米子会社の業績が好調に推移(円安影響・物量増)したことなどにより1月に修正予想を公表。
- ・ 物価上昇コストの回収が想定以上に進んだこと、海外子会社において若干の上振れが生じたことなどから、'25/3期の営業利益は、期初予想および修正予想ならびに前期実績を上回り、**本業ベースでは過去最高を更新した。**

## ■'26/3期 予想

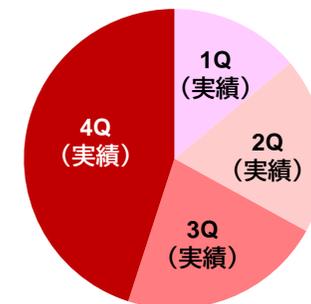
- ・ 国内では、好調な受注高・受注残高を背景に引き続き安定的な売上・収益を確保。  
一方、海外は既存事業に加え、北米子会社における下水処理の新技術の売上・収益貢献を織り込み、**通期連結業績予想は増収・増益(過去最高)を見込む。**
- ・ なお当社グループから米国への輸出は極めて限定的であり、関税の影響はほとんどない。

# '25/3期 決算概況(連結)

## ■受注高・受注残高:過去最高を更新

- 受注高は、主に運営事業、海外事業共に前期実績を上回った。  
受注残高: '24/3期末 275,071百万円 ⇒ '25/3期末 318,700百万円(+43,629百万円)

'25/3期 四半期別売上構成



## ■売上高・営業利益:過去最高を更新

- 売上高は、主に海外事業が順調に推移し増収。
- 期初説明の人的投資、基幹システム更新に伴う減価償却費などの先行投資があったものの、海外事業の差別化システム・製品の貢献により売上総利益率が改善。本業ベースとしては、**営業利益が初の100億円を超える水準<sup>\*</sup>となった。**※'21/3期の営業利益108億円。退職給付信託株式売却による一過性要因を除く本業ベースでは91億円
- 投資有価証券評価損、為替差損などにより経常利益は前期を下回ったが、当期純利益は前期並みの実績を確保した。

(百万円)

|                            | 受注高                  | 売上高              | 営業利益          | 経常利益                 | 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり配当金(円) |            |
|----------------------------|----------------------|------------------|---------------|----------------------|---------------------|-------------|------------|
|                            |                      |                  |               |                      |                     | 第2四半期末      | 期末         |
| '25/3期実績                   | 222,724              | 179,094          | 10,626        | 9,951 <sup>*1</sup>  | 6,852               | 24          | 26<br>(予定) |
|                            | 予想比 +2,724           | ▲905             | +926          | +851                 | +652                |             |            |
|                            | 前期比 +10,809<br>+5.1% | +13,532<br>+8.2% | +722<br>+7.3% | ▲539<br>▲5.1%        | ▲22<br>▲0.3%        |             |            |
| '25/3期予想<br>(2025年1月30日修正) | 220,000              | 180,000          | 9,700         | 9,100                | 6,200               | 24          | 26         |
| '24/3期実績                   | 211,914              | 165,561          | 9,903         | 10,490 <sup>*2</sup> | 6,875               | 22          | 24         |

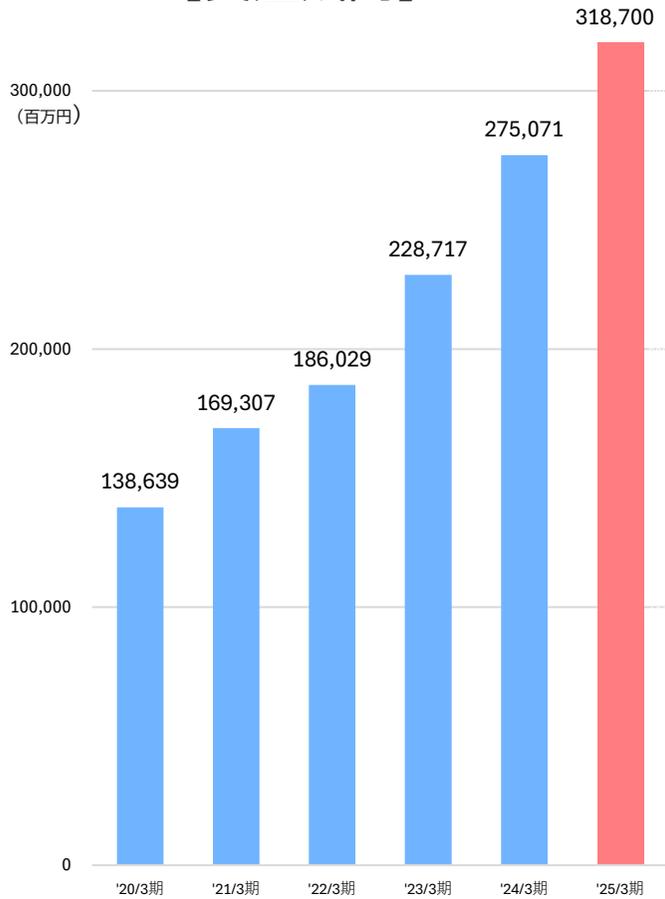
5 ※百万円未満切り捨て(以降の実績値も同様)

\*1 為替差損147百万円ほか \*2為替差益621百万円ほか

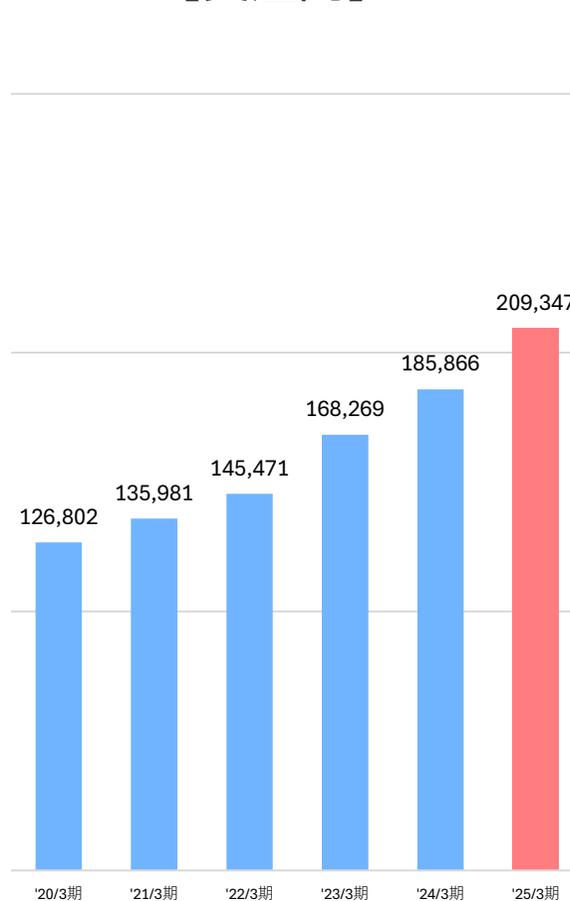
# 受注残高・受注高・売上高推移（連結）

国内、海外共に堅調な需要を背景に、**受注残高、受注高、売上高、本業ベースの営業利益は過去最高を更新。**

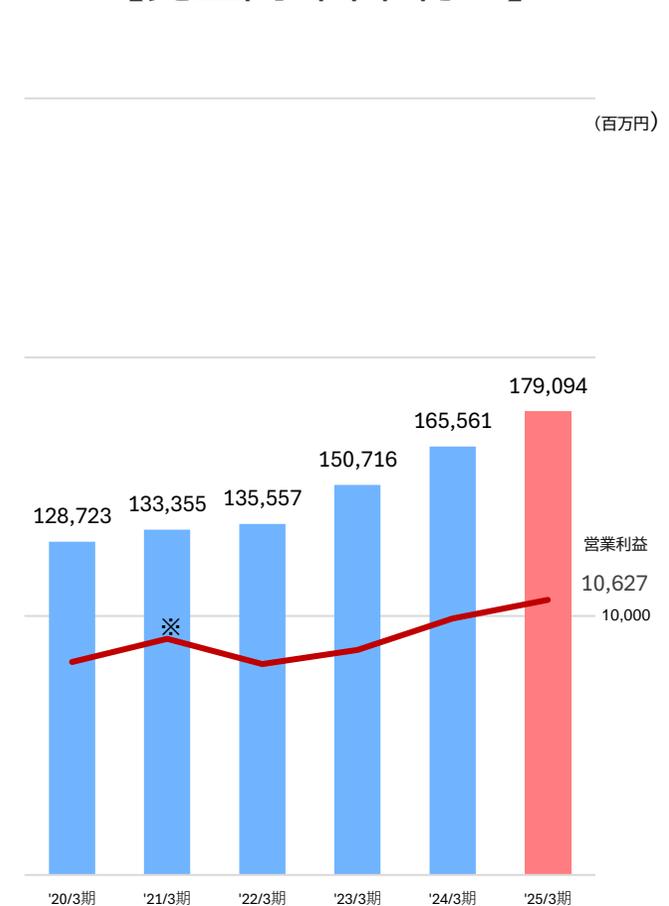
## 【受注残高】



## 【受注高】※3か年平均値



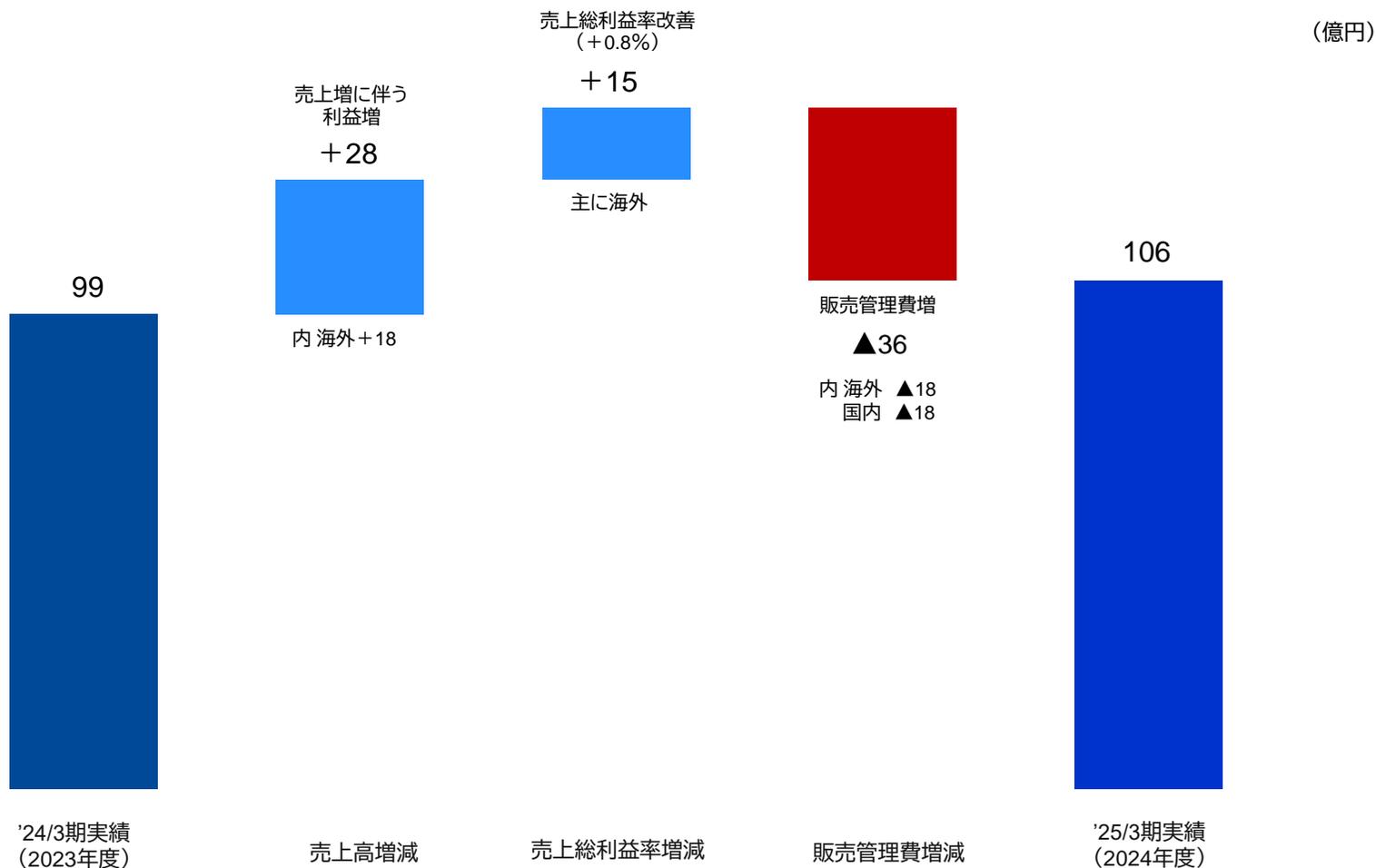
## 【売上高・営業利益】



※ '21/3期の営業利益108億円。退職給付信託株式売却による一過性要因を除く本業ベースでは91億円

# 営業利益増減要因('24/3期実績 vs '25/3期実績)

海外子会社の好調な業績(円安・物量増)、売上総利益率改善などにより、人的投資、海外販促費などの販売管理費の増加を吸収し、前期実績を上回る着地となった。



# '25/3期 セグメント別概況（連結）

受注高：EE事業は'24/3期に大型・予算外案件などがあり減少。運営事業は複数年に及ぶサービス契約により増加したほか、海外事業が好調に推移し**大幅増加**。

売上高：国内はSS事業の修繕補修工事が好調に推移。海外は北米子会社が好調に推移し**増収**。

営業利益：国内は引き合いコストの先行投資(人的投資、提案費用・償却費)に加え、EE事業では研究開発費があったものの、海外事業が好調に推移し、**増益を確保**。

(百万円)

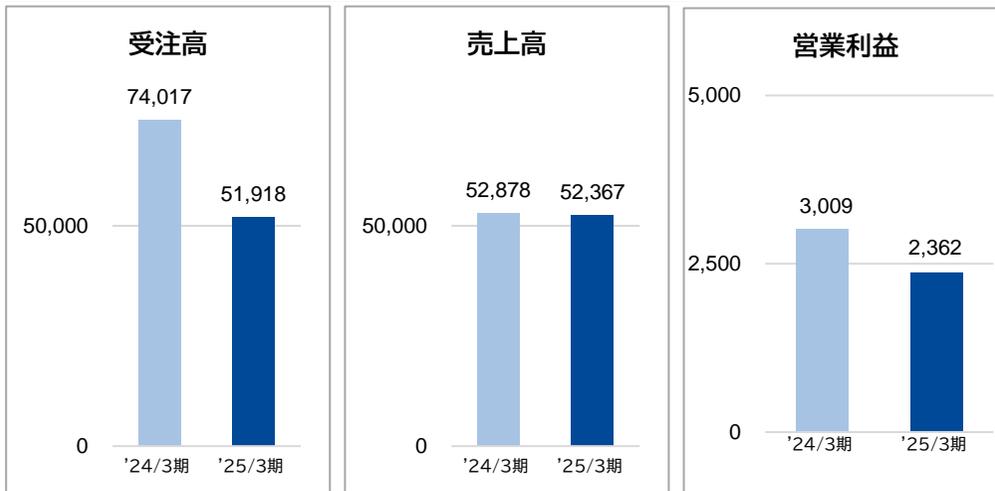
|                         | 受注高          |              |         | 売上高          |              |         | 営業利益                    |                         |        |
|-------------------------|--------------|--------------|---------|--------------|--------------|---------|-------------------------|-------------------------|--------|
|                         | '24/3期<br>実績 | '25/3期<br>実績 | 増 減     | '24/3期<br>実績 | '25/3期<br>実績 | 増 減     | '24/3期<br>実績<br>(営業利益率) | '25/3期<br>実績<br>(営業利益率) | 増 減    |
| 環境エンジニアリング事業<br>(EE事業)  | 74,017       | 51,918       | ▲22,098 | 52,878       | 52,367       | ▲510    | 3,009<br>(5.7%)         | 2,362<br>(4.5%)         | ▲646   |
| システムソリューション事業<br>(SS事業) | 60,424       | 63,455       | +3,030  | 52,570       | 57,211       | +4,641  | 3,690<br>(7.0%)         | 3,422<br>(6.0%)         | ▲267   |
| 運 営 事 業                 | 40,632       | 55,860       | +15,228 | 28,880       | 31,787       | +2,907  | 2,111<br>(7.3%)         | 2,219<br>(7.0%)         | +107   |
| ※1<br>海 外 事 業           | 36,840       | 51,489       | +14,648 | 31,232       | 37,727       | +6,494  | 1,092<br>(3.5%)         | 2,621<br>(6.9%)         | +1,529 |
| ※2                      |              |              |         |              |              |         |                         |                         |        |
| 合 計                     | 211,914      | 222,724      | +10,809 | 165,561      | 179,094      | +13,532 | 9,903<br>(6.0%)         | 10,626<br>(5.9%)        | +722   |

※1 為替レート：'24/3期 140.7円/\$ '25/3期 151.7円/\$ ※2 為替影響：売上高 2,364百万円、営業利益 257百万円

# セグメント別 概要①

(百万円)

## 環境エンジニアリング事業



### 【受注高・受注残高】

受注高は水環境事業および資源環境事業共に前年を下回った。  
受注残高101,963百万円→101,514百万円。

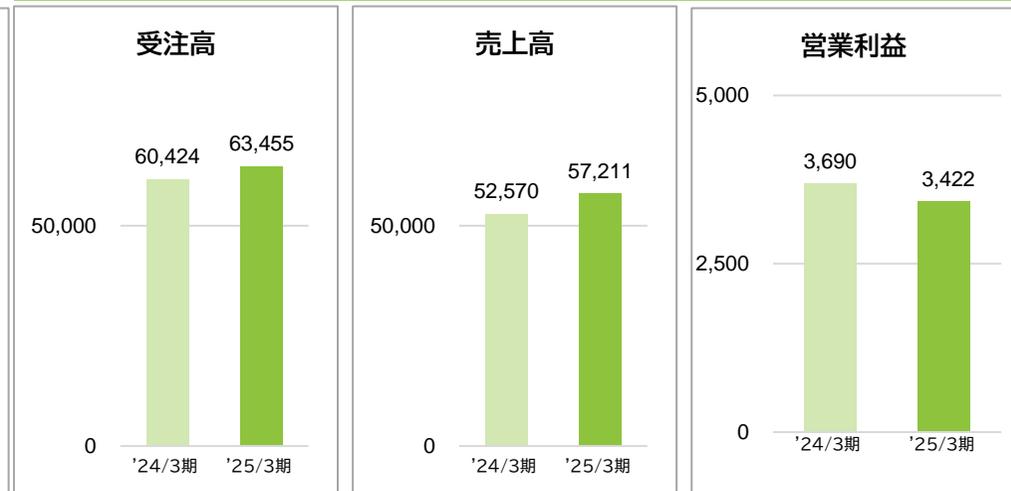
### 【売上高・営業利益】

水環境事業は設計・建設などの工事進行基準の売上高が減少したことにより、売上高・営業利益共に前期を下回った。

資源環境事業は大型の建設工事案件が順調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回った。

上記により売上高・営業利益共に前期を下回った。

## システムソリューション事業



### 【受注高・受注残高】

受注高はシステムエンジニアリング事業・カスタマーエンジニアリング事業共に前年を上回った。

受注残高65,082百万円→71,326百万円。

### 【売上高・営業利益】

システムエンジニアリング事業は、大型の工事案件が順調に推移し、売上高は前期を上回ったが、労務費など販売管理費の増加により、営業利益は前期を下回った。

カスタマーエンジニアリング事業は、補修工事や更新工事などが順調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回った。

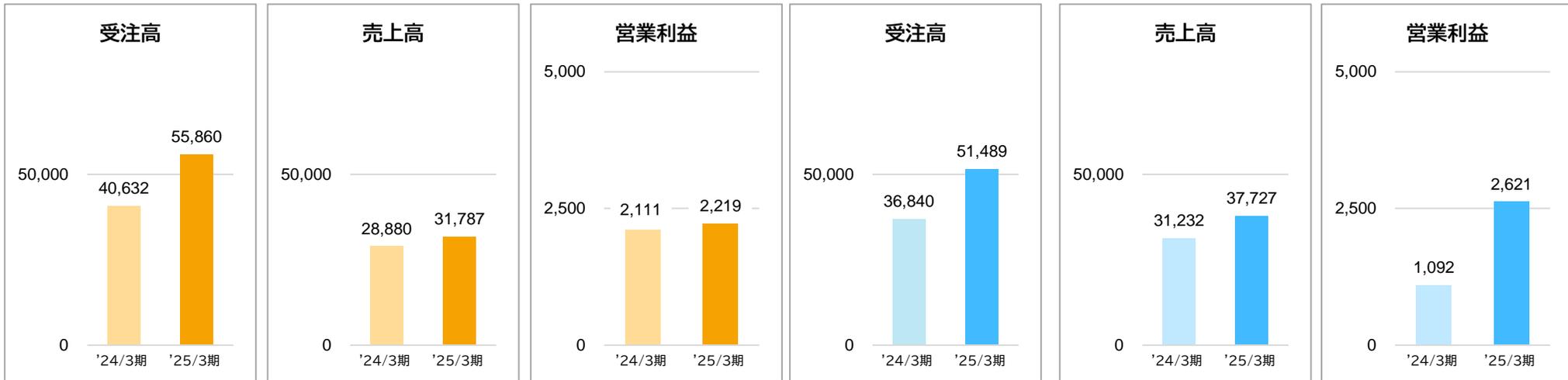
上記により売上高は前期を上回るも営業利益は前期を下回った。

# セグメント別 概要②

(百万円)

## 運営事業

## 海外事業



### 【受注高・受注残高】

受注高はサービス子会社における大型(約250億円)の複数年契約により前期を上回った。

受注残高78,946百万円→103,020百万円。

### 【売上高・営業利益】

子会社の業績が順調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回った。

### 【受注高・受注残高】

受注高は北米および欧州子会社の主力製品の引き合いが好調に推移し、前期を上回った。

受注残高29,078百万円→42,839百万円。

### 【売上高・営業利益】

北米子会社および欧州子会社において主力製品の販売が好調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回った。

- \* うち為替影響 売上高2,364百万円、営業利益257百万円
- \* 海外子会社買収時の「のれん」ほか無形固定資産などの償却(760百万円)処理後
- \* 為替レート '24/3期 140.7円/\$ '25/3期 151.7円/\$

- I 2025年3月期決算ハイライト
- II 2026年3月期通期業績予想・配当予想
- III 「中期経営計画2027」の補足
- IV 2025年3月期決算概要  
(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フローの状況)

# '26/3期通期業績予想(連結)

## ■受注高

受注高は2,300億円水準に増加。海外事業については、北米子会社の下水道案件の受注獲得に注力。

## ■売上高

国内は豊富な受注残高からの売上、および保守・サービス案件の獲得により堅調に推移し、海外は北米子会社の下水道新技術のほか、子会社\*の新規連結(9カ月分)などにより**増収の見込み**。連結売上高は設立時のおおむね2倍となる**2,000億円(8期連続の増収)**を見込む。

※新たに買収したSchwing Bioset社

## ■利益

大幅な売り上げ増と売上総利益率の改善を織り込み、**営業利益は引き続き100億円水準を維持**。各利益共に増益とし**過去最高**を見込む。

## ■配当

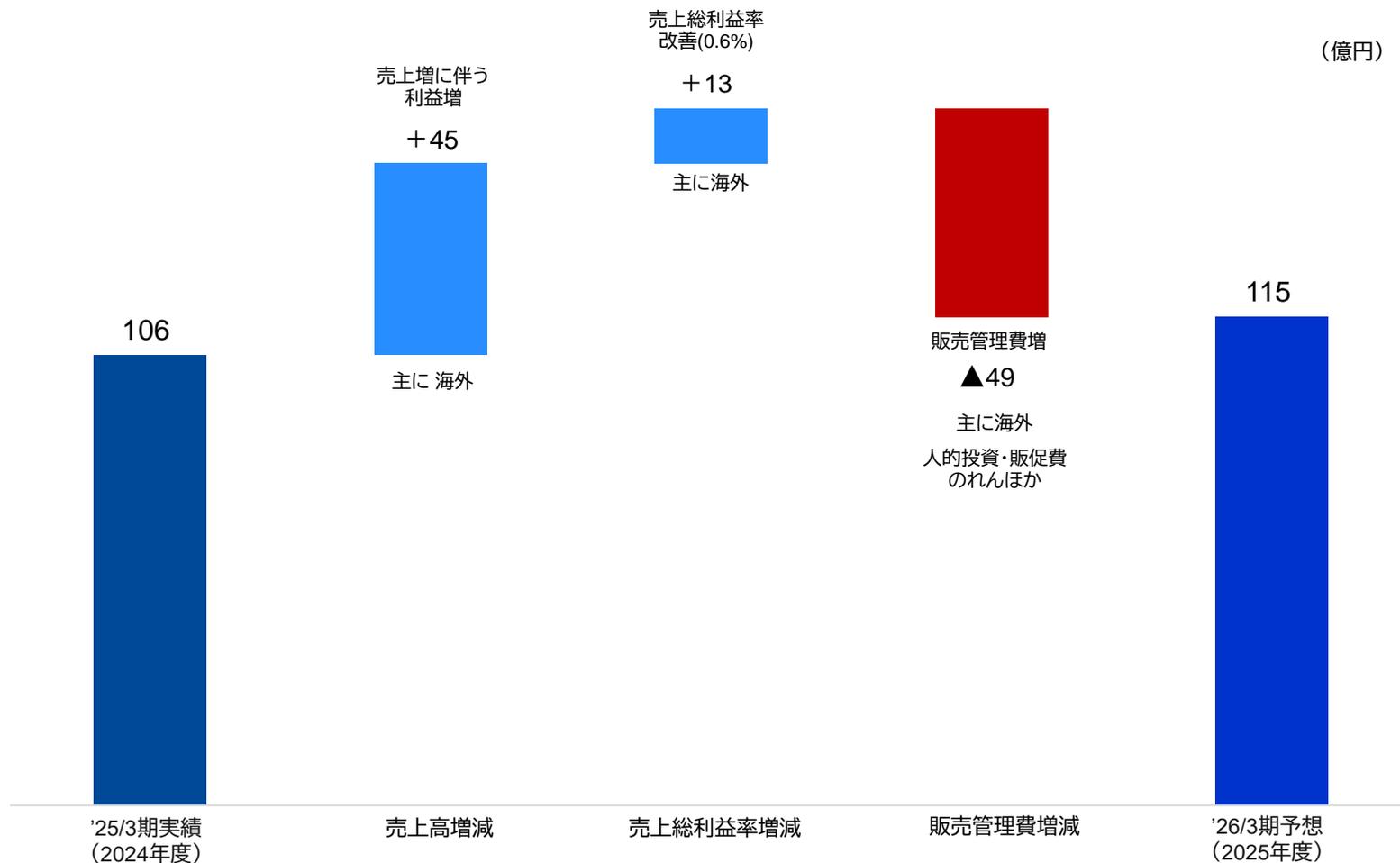
累進配当および連結配当性向30~40%の基本方針を継続し、**4期連続の増配**を予定。

(百万円)

|              | 受注高                  | 売上高                    | 営業利益               | 経常利益               | 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり配当金(円) |            |
|--------------|----------------------|------------------------|--------------------|--------------------|---------------------|-------------|------------|
|              |                      |                        |                    |                    |                     | 第2四半期末      | 年度末        |
| '26/3期<br>予想 | 230,000              | 200,000                | 11,500             | 10,900             | 7,500               | 28          | 28         |
|              | 前期比: +7,276<br>+3.3% | 前期比: +20,905<br>+11.7% | 前期比: +873<br>+8.2% | 前期比: +948<br>+9.5% | 前期比: +647<br>+9.4%  |             |            |
| '25/3期<br>実績 | 222,724              | 179,094                | 10,626             | 9,951              | 6,852               | 24          | 26<br>(予定) |

# 営業利益増減 分析('25/3期実績 vs '26/3期予想)

国内は、好調な受注高・受注残高を背景とした着実な売上高の増加。  
海外は、事業拡大に伴う戦略投資、および下水処理の新技术展開による収益貢献を織り込む。



# '26/3期 セグメント別 (連結)業績予想

受注高: 運営事業は'25/3期に大型の複数年に及ぶサービス契約があり減少するも**海外事業が好調に推移**。

売上高: 海外事業は下水道新技術の展開、新規連結により大幅に増加するほか、**各セグメント共に増収を見込む**。

営業利益: SS事業は研究開発費負担の増加、運営事業は(株)みずむすびマネジメントの受託設備の更新に伴う減価償却費により減益(当初計画通り)となるが、**EE事業・海外事業が堅調に推移し増益を見込む**。

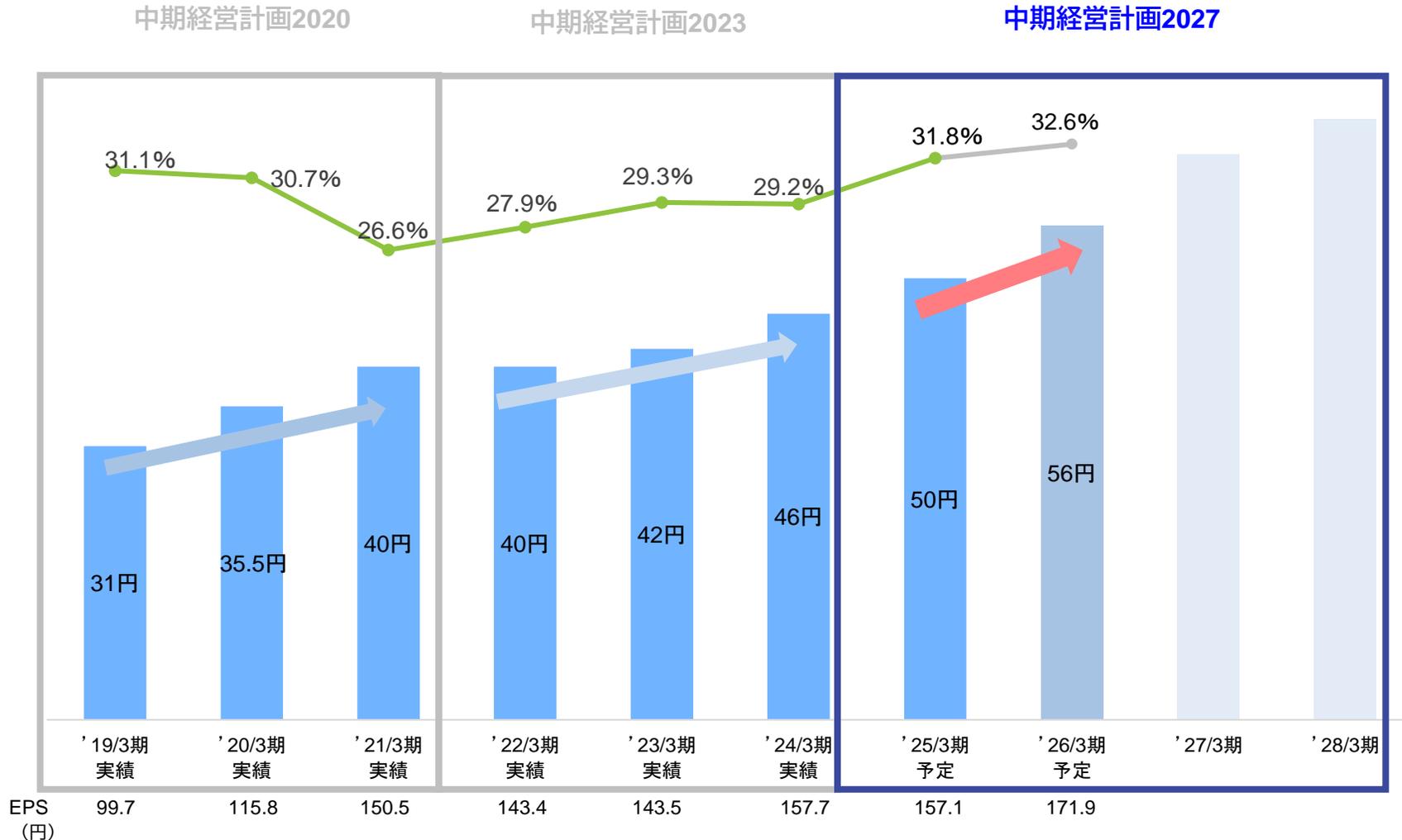
(百万円)

|                         | 受注高      |          |         | 売上高      |          |         | 営業利益                |                     |        |
|-------------------------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|---------------------|---------------------|--------|
|                         | '25/3期実績 | '26/3期予想 | 増減      | '25/3期実績 | '26/3期予想 | 増減      | '25/3期実績<br>(営業利益率) | '26/3期予想<br>(営業利益率) | 増減     |
| 環境エンジニアリング事業<br>(EE事業)  | 51,918   | 59,000   | +7,082  | 52,367   | 58,000   | +5,633  | 2,362<br>(4.5%)     | 3,600<br>(6.2%)     | +1,238 |
| システムソリューション事業<br>(SS事業) | 63,455   | 67,000   | +3,545  | 57,211   | 58,000   | +789    | 3,422<br>(6.0%)     | 2,800<br>(4.8%)     | ▲622   |
| 運営事業                    | 55,860   | 44,000   | ▲11,860 | 31,787   | 32,000   | +213    | 2,219<br>(7.0%)     | 1,500<br>(4.7%)     | ▲719   |
| 海外事業 <sup>※</sup>       | 51,489   | 60,000   | +8,511  | 37,727   | 52,000   | +14,273 | 2,621<br>(6.9%)     | 3,600<br>(6.9%)     | +978   |
| 合計                      | 222,724  | 230,000  | +7,276  | 179,094  | 200,000  | +20,905 | 10,626<br>(5.9%)    | 11,500<br>(5.8%)    | +873   |

※為替レート: '25/3期 151.7円/\$ '26/3期予想レート 150.0円/\$

# 配当予想

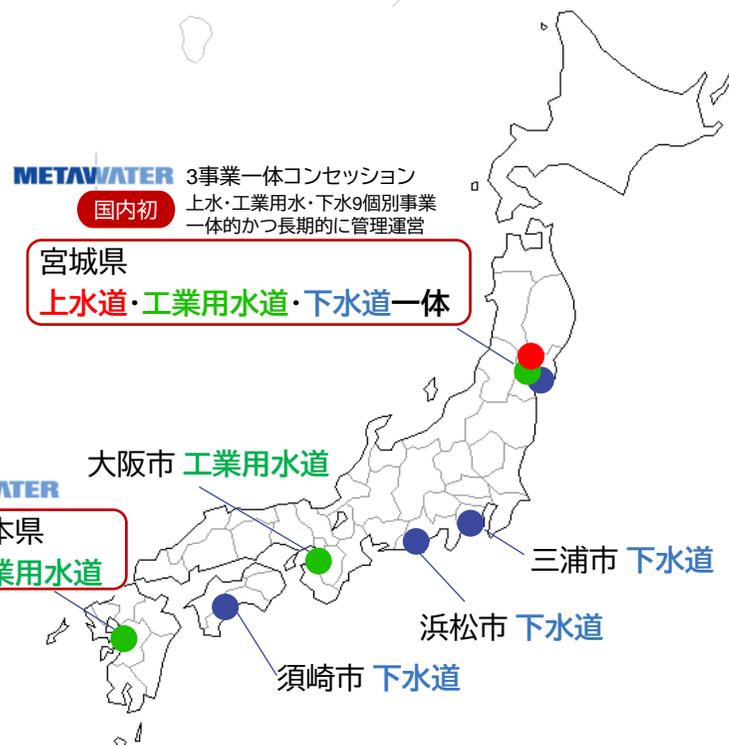
売上高2,000億円、営業利益100億円水準の達成、配当方針(累進配当・配当性向30~40%)に照らし、'26/3期の1株あたり配当は**6円増(4期連続増配)**となる**56円**を予定。



※'21/3期に実施した株式分割(1→2株)考慮後 ※配当性向=1株あたり配当金÷EPS

- I 2025年3月期決算ハイライト
- II 2026年3月期通期業績予想・配当予想
- III 「中期経営計画2027」の補足
- IV 2025年3月期決算概要  
(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フローの状況)

## コンセッション6事業が運営開始



|           |                                |                   |
|-----------|--------------------------------|-------------------|
| レベル4.0    | W-PPP(コンセッション 10-20年契約)        | 事業件数ターゲット(～2031年) |
| レベル3.5 新設 | W-PPP (管理・更新一体型マネジメント 原則10年契約) |                   |
| レベル3.0    | レベル2+修繕計画の策定・実施                | 水道 100件           |
| レベル2.5    | レベル2+一定額以下の修繕                  | 下水道 100件          |
| レベル2      | レベル1+ユーティリティ調達・管理              | 工業用水 25件          |
| レベル1      | 水質管理・施設の運転、保守                  |                   |

## 【広義のPPPに向けた取り組み方針】

### 【市場調査】

- ・ ウォーターPPP(W-PPP)を含むDBO、DBM、PFIなどの「**広義のPPP**」について当社にて市場調査を実施。
- ・ 中小規模案件が多く、広域化の動きも鈍い印象

### 【調査結果を踏まえた方針】

- ・ 大都市における大規模再構築事業(DBO)に注力。
- ・ PPP(W-PPP、DBO、DBM、PFIを含む)に対して、採算面、投資回収などを踏まえて応札すべき案件の絞り込みを行う。

### 【中期経営計画2027】

- ・ 2025年度～:受注目標⇒従前の倍の件数/年 (売上貢献は2026年度以降)

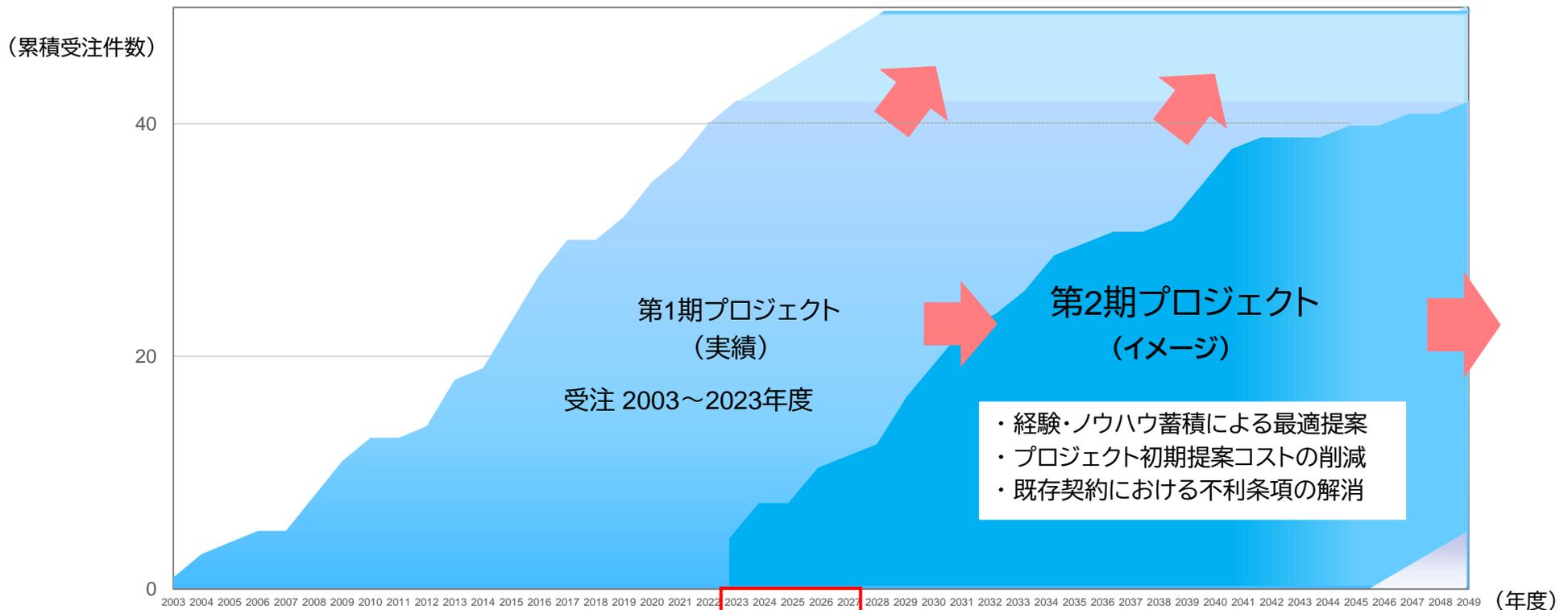
# 当社参画PPPプロジェクト 第2期ステージが到来

当社グループは、主要な上下水道PPPプロジェクトの3~4割に参画。

政府方針(W-PPP導入による公民連携の加速)により、PFI、DBOを含む「広義のPPP」の拡大。

契約期間満了後の第2期ステージに向け、経験・ノウハウを生かし収益力の強化を目指す。

【参画プロジェクト契約期間分布イメージ】



# 下水道新技術(Nereda<sup>®</sup>技術)の展開

本技術は、デルフト工科大学(蘭)とRoyal HaskoningDHV社(蘭)で開発された汚水処理技術。  
従来の標準活性汚泥法から脱却する画期的な汚水処理方式。

公共下水道向けとしては、2011年にオランダ国内で初めて稼働。  
現在、世界120カ所以上で採択が決定し急速に普及拡大中。



## ■ 米国子会社AAS社<sup>※</sup>は、2016年に北米地域における独占的使用許諾契約を締結。

⇒実証実験を経て、多くの採用予定と運用実績を有する。

主力下水処理技術「Cloth Media Filter」の販売に加え、本技術は新たな領域での新技術として業績に寄与。

従来の高度処理技術に対して

- ✓ 省スペース(70%程度削減)
- ✓ 省エネルギー(35%程度削減)
- ✓ 処理水質向上とシンプルな構成

etc.

## ■ 2024年6月、当社は日本における独占的使用許諾契約を締結。

⇒人口減少下の日本に最適な特長を生かし、本技術の普及拡大を目指す。(低LCCを実現)

# 米国Schwing Bioset, Inc.の全株式取得の狙い

今後 拡大が見込まれる**米国汚泥処理市場**に参入。

当社グループの全面バックアップにより同社のポテンシャルを引き出し事業拡大を加速させる。

グループ間の連携強化、シナジー創出 ⇒ 全米地域におけるプロセスプロバイダーを目指す。



## Schwing Bioset, Inc.の概要

|      |  |
|------|--|
| 名称   | Schwing Bioset, Inc.<br>シュウイング バイオセット                  |
| 所在地  | アメリカ合衆国 ミネソタ州  |
| 代表者  | Thomas Anderson (CEO)                                  |
| 事業内容 | 汚泥処理システムの製造・販売<br><br>汚泥処理に関するエンジニアリング、サービスを北米全域、南米で展開 |
| 売上規模 | 80 M\$   |
| 設立   | 2006年  |

### 主力製品 ピストンポンプ

- ・ピストンポンプは、シリンダー内のピストンを往復移動させて、液体を送液するポンプ。
- ・Schwing Bioset社のピストンポンプは、低含水汚泥にも対応でき、北米汚泥処理市場で90%超のシェアを有する。  
用途としては下水汚泥のみならず鉱山の採掘現場でも使用されている。

北米市場 ポートフォリオ強化・シナジー創出

# 「中期経営計画2027」基本戦略

国内事業は先行費用の発生や長納期大型プロジェクトのウエイトが高いため、売上計上が長期化。  
海外事業は差別化製品・システムの機器売りが中心となるため、売上計上が短期間。

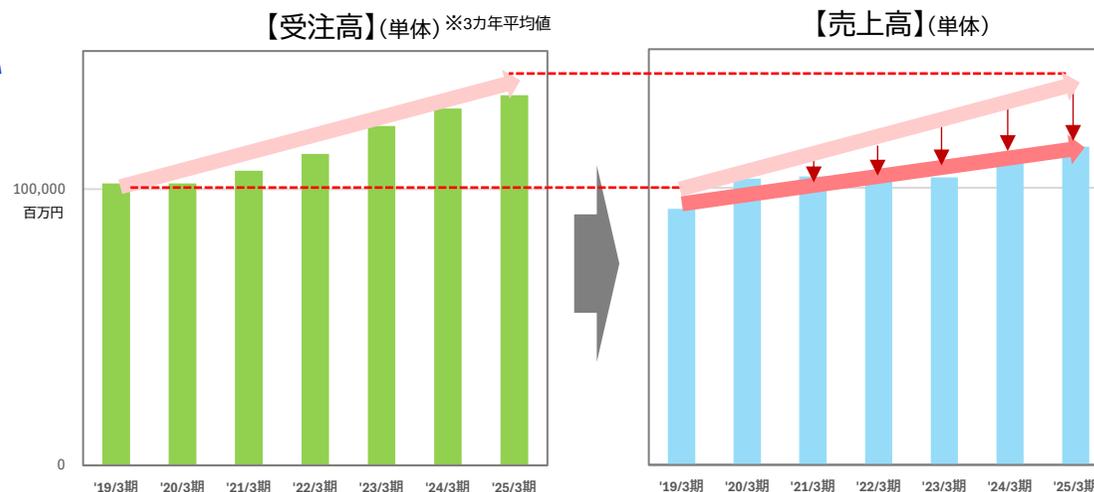
## 【国内事業】

### ■長納期大型プロジェクトEPCのウエイトが高い

受注～工事完成(売上計上)⇒長期化傾向

設計や受注にかかる引き合いコスト(人的投資・提案活動)などの**先行費用が常に発生**

**売上計上(工事完成)が長期に及ぶ**

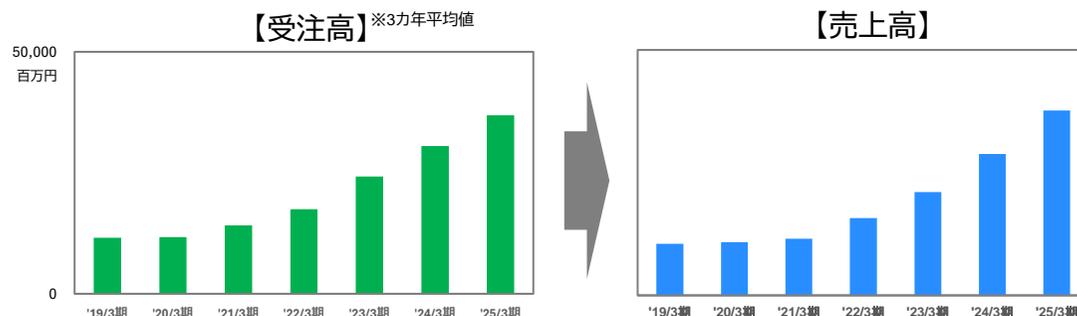


## 【海外事業】

### ■差別化製品・システムEPCで急成長

受注～売上計上=短期間で回転

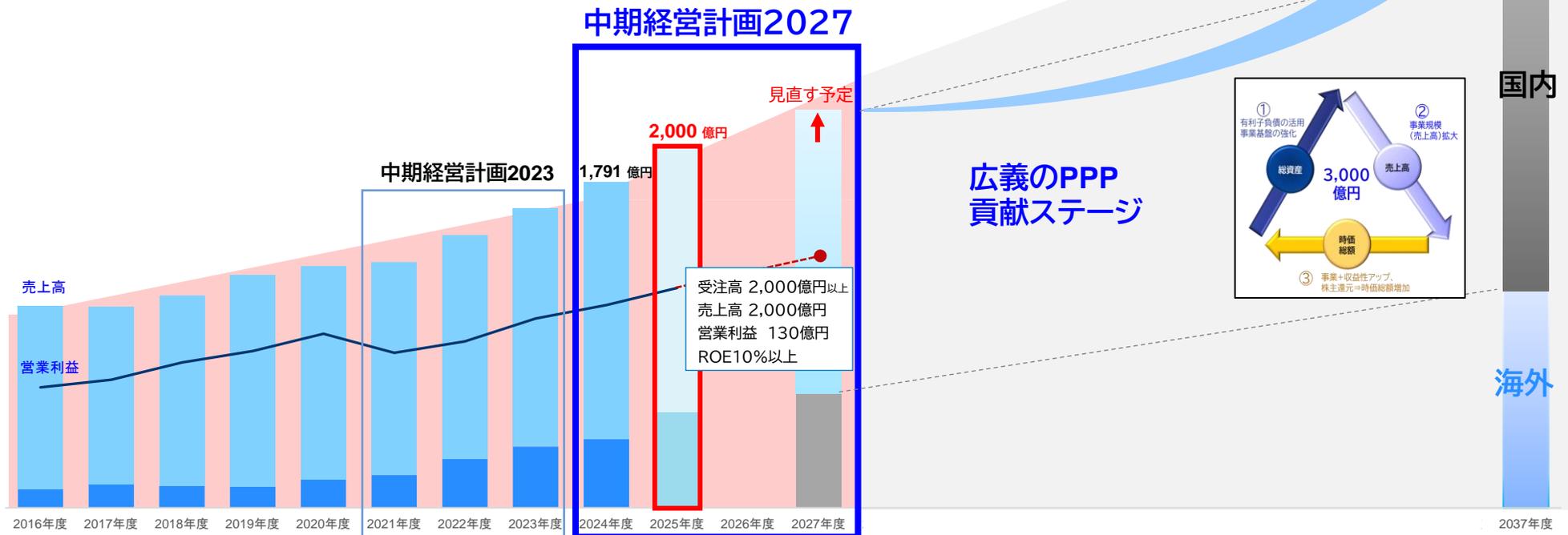
**売上計上が短期間**



# 「中期経営計画2027」⇒長期ビジョン(仮称) **Next 2037**

売上高水準は、過去10年間で約2倍、営業利益は100億円を超える水準に成長。  
⇒「中期経営計画2027」の達成(上振れ)が視野に入る。

さらなる事業拡大・収益力強化を図り次のステージを目指す



設立10年

設立20年

設立30年

Hop  
企業体質強化

Step  
成長基盤確立

Second Step  
事業拡大+基盤強化

Next Stage  
収益力強化ステージへ

サステナビリティのKPI

国内全52拠点、国内現場事務所における  
使用電力 実質再生可能エネルギー100%導入

Scope1,2:GHG70%削減  
顧客:製品・システム導入によりGHG50%削減

⇒2050  
カーボンニュートラルへ

- I 2025年3月期決算ハイライト
- II 2026年3月期通期業績予想・配当予想
- III 「中期経営計画2027」の補足
- IV 2025年3月期決算概要  
(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フローの状況)

# '25/3期 連結損益計算書(対前年増減)

|                     | '24/3期<br>実績 | '25/3期<br>実績 | 増減      |
|---------------------|--------------|--------------|---------|
| 売上高                 | 165,561      | 179,094      | +13,532 |
| 売上総利益               | 34,403       | 38,713       | +4,310  |
| 営業利益                | 9,903        | 10,626       | +722    |
| (営業利益率)             | 6.0%         | 5.9%         | ▲0.1%   |
| 営業外損益               | 587          | -675         | ▲1,262  |
| 経常利益                | 10,490       | 9,951        | ▲539    |
| 特別損益                | —            | -90          | ▲90     |
| 税金等調整前<br>当期純利益     | 10,490       | 9,861        | ▲629    |
| 法人税等                | 3,124        | 2,566        | ▲558    |
| 非支配株主に帰属する<br>当期純利益 | 490          | 441          | ▲49     |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 6,875        | 6,852        | ▲22     |

(百万円)

|                       |        |
|-----------------------|--------|
| 売上高 増減                |        |
| 主に海外事業が好調に推移          | +6,494 |
| うち為替影響2,574           |        |
| 営業利益 増減               |        |
| 売上増影響                 | +2,812 |
| 売上総利益率改善(20.8%→21.6%) | +1,498 |
| 販売管理費増                | ▲3,587 |
| 営業外損益 増減              |        |
| 為替差損益(621 ⇒ -147)     | ▲768   |
| 外貨建資産の評価損が発生          |        |
| 投資有価証券評価損             | ▲213   |

# '25/3期期末 連結貸借対照表

資産：売上債権・契約資産の回収および資金調達を要因として現預金が増加。

負債：社債発行とシンジケートローンにより、固定負債が増加。

(百万円)

|                   | '24/3期<br>期末実績 | '25/3期<br>期末実績 | 増 減            |
|-------------------|----------------|----------------|----------------|
| 現金・預金             | 14,882         | 36,278         | +21,396        |
| 売上債権・契約資産         | 103,059        | 109,214        | +6,154         |
| 仕掛品・貯蔵品           | 13,699         | 10,999         | ▲2,700         |
| その他               | 4,432          | 3,685          | ▲746           |
| <b>流動資産計</b>      | <b>136,074</b> | <b>160,178</b> | <b>+24,103</b> |
| 有形固定資産            | 5,768          | 6,674          | +906           |
| 無形固定資産            | 16,055         | 17,706         | +1,651         |
| 繰延税金資産            | 2,253          | 2,622          | +369           |
| その他 <sup>*3</sup> | 8,691          | 9,601          | +909           |
| <b>固定資産計</b>      | <b>32,769</b>  | <b>36,605</b>  | <b>+3,836</b>  |
| <b>総資産計</b>       | <b>168,843</b> | <b>196,783</b> | <b>+27,939</b> |

|                 | '24/3期<br>期末実績        | '25/3期<br>期末実績        | 増 減            |
|-----------------|-----------------------|-----------------------|----------------|
| 買掛債務            | 32,336                | 30,806                | ▲1,530         |
| 短期借入金           | (698)<br>*1 4,289     | (806)<br>*1 805       | ▲3,483         |
| 契約負債            | 10,552                | 12,944                | +2,392         |
| その他             | 17,313                | 21,328                | +4,014         |
| <b>流動負債計</b>    | <b>64,491</b>         | <b>65,885</b>         | <b>+1,393</b>  |
| 社債・長期借入金        | (12,726)<br>*2 22,726 | (14,620)<br>*2 39,620 | +16,894        |
| その他             | 5,949                 | 5,927                 | ▲21            |
| <b>固定負債計</b>    | <b>28,675</b>         | <b>45,547</b>         | <b>+16,872</b> |
| <b>負債計</b>      | <b>93,166</b>         | <b>111,433</b>        | <b>+18,266</b> |
| <b>純資産計</b>     | <b>75,676</b>         | <b>85,350</b>         | <b>+9,673</b>  |
| <b>負債・純資産合計</b> | <b>168,843</b>        | <b>196,783</b>        | <b>+27,939</b> |

\*1 \*2 :カッコ内の数値はPFIなどプロジェクトファイナンス・ローンの金額

\*3 : 繰延資産含む

# '25/3期 連結キャッシュ・フローの状況

大型案件の入金により営業キャッシュ・フローは大幅増加。

(百万円)

|               | '24/3期<br>実績 | '25/3期<br>実績 | 増 減     |                   |
|---------------|--------------|--------------|---------|-------------------|
| 現金・現金同等物の前期残高 | 11,085       | 14,219       | +3,134  |                   |
| 営業キャッシュ・フロー   | -5,486       | 13,316       | +18,802 | 売上債権回収<br>+10,230 |
| 投資キャッシュ・フロー   | -3,098       | -4,094       | ▲995    |                   |
| フリー・キャッシュ・フロー | -8,584       | 9,222        | +17,806 |                   |
| 財務キャッシュ・フロー   | 11,338       | 12,005       | +667    |                   |
| 現金・現金同等物の期末残高 | 14,219       | 35,683       | +21,464 |                   |

## □環境エンジニアリング事業(略語:EE事業) 水環境事業、資源環境事業

国内浄水場・下水処理場・資源リサイクル施設向け、**機械設備の設計・建設**および**保守・維持管理**を主たる業務としています。

## □システムソリューション事業(略語:SS事業) システムエンジニアリング事業、カスタマーエンジニアリング事業

国内浄水場・下水処理場向け、**電気設備の設計・製造**および**保守・維持管理**を主たる業務としています。

## □運営事業

国内浄水場・下水処理場・資源リサイクル**施設の運営**を主たる業務としています。

## □海外事業

海外浄水場・下水処理場向け、施設・設備の**設計・建設**および**保守・維持管理**ならびに**民需事業**を主たる業務としています。

|    |         |  |
|----|---------|--|
| 略語 | EPC     | Engineering, Procurement and Construction:設計・調達・建設                 |
|    | O&M     | Operation and Maintenance:運転・維持管理                                  |
|    | PPP     | Public-Private Partnership(公民連携):公共サービスの提供に民間が参画する手法               |
|    | PFI     | Private Finance Initiative: 公共施設の設計・建設、運転・維持管理、資金調達に民間を活用する公共事業の手法 |
|    | DBO     | Design, Build and Operate:公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法      |
|    | コンセッション | 公共施設の所有権と事業経営の許可を公的機関に残したまま、民間企業に事業運営権を長期間にわたって付与する手法              |

## ディスクロージャーポリシー

### 1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方にのっとり、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ることにより、当社グループに対する理解促進を図り、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

### 2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法などの諸法令および金融商品取引所の定める規則などにより開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則などにのっとり、情報開示を行います。また、法令や規則などに該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様に有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

### 3. 情報開示の方法

上記の法令や規則などにより開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則などで定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則などに該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページなどを通じて情報開示を行います。

### 4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答などを通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見などは、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

### 5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算(四半期決算を含む)期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見通しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等など差し控えます。

### 6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標などのうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績などは様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

### 7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図れるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



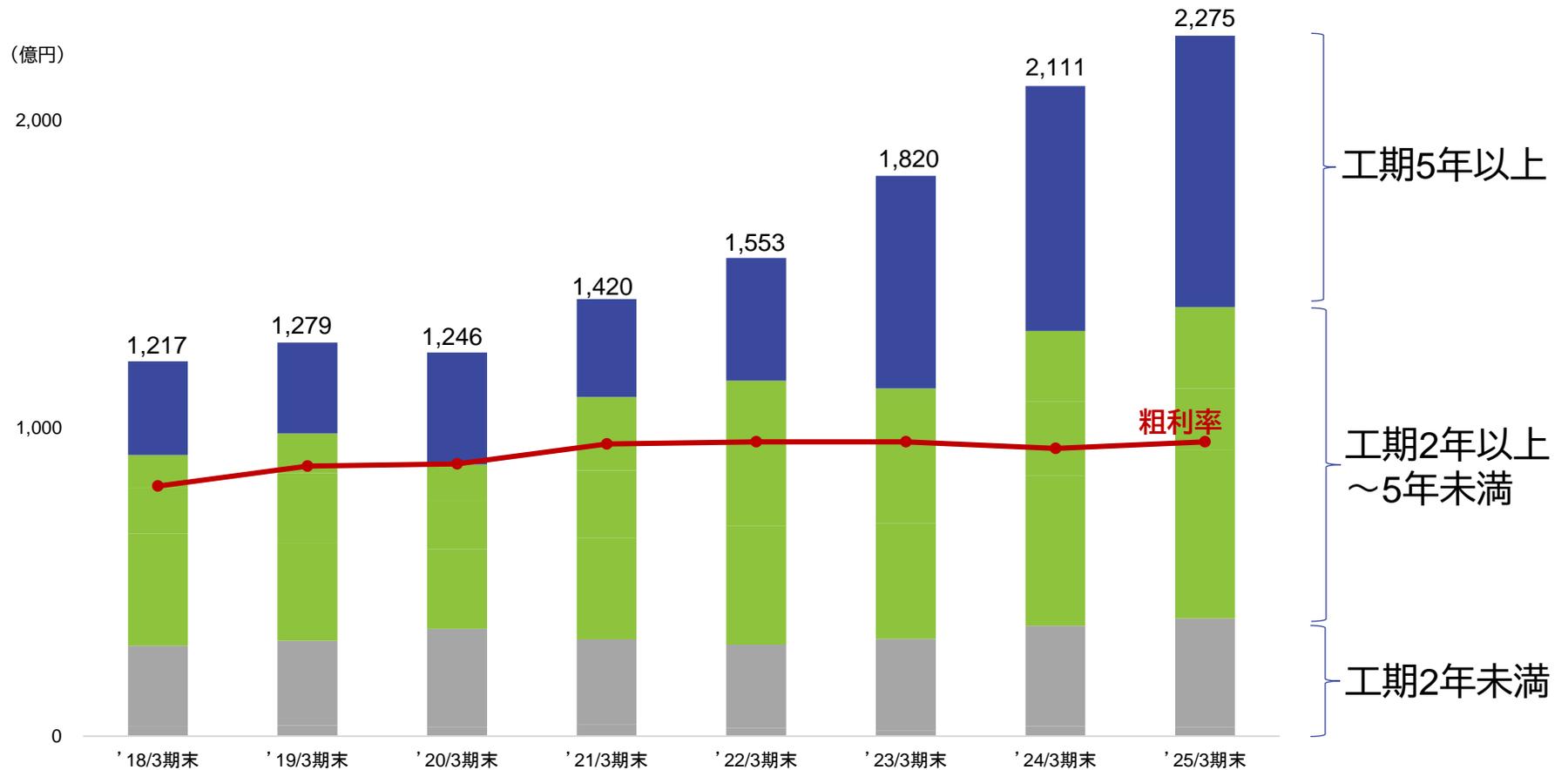
【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 経営企画室 コーポレートコミュニケーション部

Tel:03-6853-7317 Fax:03-6853-8709 E-mail:pr@metawater.co.jp

# 【参考】受注残(単体)と粗利率の推移

長期案件の増加もあり、受注残高は每期最高値を更新、受注残における粗利率を維持。



# 【参考】研究開発費・設備投資・減価償却費

(百万円)

|           | '24/3期<br>通期実績 | '25/3期<br>通期実績 | 増減     |
|-----------|----------------|----------------|--------|
| 研 究 開 発 費 | 2,129          | 2,352          | +222   |
| 設 備 投 資   | 5,963          | 4,052          | ▲1,911 |
| 減 価 償 却 費 | 2,142          | 2,601          | +458   |

## 事業活動

- \* 「中期経営計画2027」を公表(4月)
- \* 株式給付信託(J-ESOP)の導入(5月)
- \* (株)みずむすびマネジメントみやぎが「第1回PPP/PFI事業優良事例表彰」で大臣賞を受賞(7月)
- \* 「下水道展'24東京」に出展(7月)
- \* 酒田市、NTTデータ イントラマートと連携協定を締結(10月)
- \* 第2回ブルーボンドを発行(1月)
- \* シンジケートローン契約を締結(1月)
- \* 自己株式を消却(1月)
- \* 米国Schwing Bioset, Inc.との株式譲渡契約を締結(3月)
- \* カンボジア王国にプノンペン支店を開設(3月)
- \* 都内初となる清掃関連施設のネーミングライツ導入施設「小金井市資源物処理施設(メタウォーターサステナブルパークこがねい)」が完成(3月)
- \* 「燕市・弥彦村統合浄水場等整備事業」における統合浄水場等が完成(3月)

## ESGの取り組みほか

- \*「メタウォーター打ち水大作戦2024」を開催（8月）
- \*内閣官房水循環政策本部事務局の「水循環企業登録・認証制度」において、「水循環ACTIVE企業」に認証（10月）
- \*エコプロ2024「水をめぐる大冒険実行委員会」ブースに協賛（12月）
- \*福井県あわら市と「災害等発生時における上下水道事業の支援協力に関する協定」を締結（12月）
- \*ESG投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定（12月）
- \*山形県西川町とWeb3を活用した水道施設の維持管理に関する実証試験の事業連携協定を締結（3月）
- \*岩手県大船渡市で発生した林野火災被害地支援のため義援金を寄付（3月）
- \*「健康経営優良法人2025」の認定を取得（3月）
- \*「国際女性デー」の理念に賛同し、社内イベントを実施（3月）
- \*ライフ・ワーク・バランスの実現と生産性向上に向けて所定労働時間をさらに短縮（3月）
- \*群馬県藤岡市と「災害時における水道施設復旧に関する協定」を締結（3月）

工事受注(10億円規模以上)

|    | 案件名                                   | 都道府県 | セグメント |
|----|---------------------------------------|------|-------|
| 1Q | 葛尾組合リサイクルセンター建設工事                     | 長野県  | EE    |
|    | 南部汚泥処理プラント汚泥処理電気設備再構築その7工事            | 東京都  | SS    |
|    | 金町浄水場第1高度浄水施設電気設備等改良工事                | 東京都  | SS    |
|    | 住之江下水処理場雨水滞水池設備工事(その1-2)              | 大阪府  | EE    |
|    | 大久保浄水場薬品注入電気計装設備更新工事                  | 埼玉県  | SS    |
| 2Q | R6霞ヶ浦導水第2機場ろ過設備新設工事                   | 茨城県  | EE    |
|    | 市原市リサイクル施設整備・運営事業                     | 千葉県  | EE    |
|    | 南部浄化センター脱水機機械設備改築工事                   | 千葉県  | EE    |
| 3Q | 東部汚泥処理プラント汚泥焼却設備2号改良・補修工事             | 東京都  | EE    |
|    | 清水区中央・遠方監視制御設備更新工事                    | 静岡県  | SS    |
|    | 大久保浄水場オゾン製造棟機械設備工事                    | 埼玉県  | EE    |
| 4Q | 総選除)024水整第801号 大久保浄水場高度浄水処理施設電気計装設備工事 | 埼玉県  | SS    |
|    | 柴田汚泥処理場汚泥焼却設備工事                       | 愛知県  | EE    |
|    | 024大改第666号 大久保浄水場監視制御システム更新工事         | 埼玉県  | SS    |
|    | 令和6年度汚泥共同処理施設1号焼却炉更新事業                | 石川県  | SS    |

運転・維持管理 新規受託/業務開始

|    | 案件名                     | 都道府県 | セグメント |
|----|-------------------------|------|-------|
| 1Q | 名城水処理センター運転管理業務委託【業務開始】 | 愛知県  | 運営    |